

観光客の電気バスに3億円

区民の願い コミュニティバスは後回し

⚠️ 最高速度19km
 ⚠️ 衝突実験せず
 ⚠️ 窓にガラスなし
 ⚠️ 天井が低い
 ⚠️ 運賃は？
 ⚠️ 16人乗り
 ⚠️ 冷暖房なし



デザイン 3000万円

観光客を対象にした電気バスに3億円を投じ2019年運行開始するとしています。ルートは南池袋公園、新設する造幣局跡地防災公園、改修予定の池袋西口公園と中池袋公園といった「池袋駅周辺4公園」を中心に回遊するもので、土日祝日はトキワ荘や地藏通り等の観光スポットも走らせるとしています。

区長が「国際アート・カルチャー都市の実現だ」と言い、池袋を賑わせ大企業の儲けのために来街者を増やすアベノミクスのやり口です。

(参考) 港区の"電気コミュニティバス"



小中学生がデザイン
 運賃100円
 35人乗り
 環境にやさしい
 安全で快適
 日野電気ポンチョ

▲安全性に大きな不安あり

群馬県で土日祝日に8人乗りバスが温泉や動物園など観光地で運行しており、導入する16人乗りバスは昨年ナンバーを取得したばかりです。最高速度19キロと自転車並みで渋滞を引き起こすことは明白です。20キロ未満の保安基準の緩和によるナンバー取得で衝突実験さえしていません。最低限、公道を走ることができる程度でしかなく、衝突や追突に遭えば、ひとたまりもなく都心の公共交通として相応しくありません。

▲快適性にも問題あり

乗降口に2段の段差があります。また重量制限があるため冷暖房は付いていません。窓にガラスは無く、雨や暑さ寒さの対策もありません。運転手は激務になるでしょう。運賃は今の所、未定です。

▲ルールを無視した政治の私物化を追及

豊島区は入札前から、この車両で試乗会を行い、報道し優遇したため他の事業者からは応募がありませんでした。価格は日野ディーゼルポンチョ2500万円と同じ位で10台購入するとしています。ナンバー取得後はデザインや大きさは変更できないにも関わらず、区長の知り合いの水戸岡氏という著名人と随意契約し、色を変える程度のデザインに言い値で3千万円も払うのは政治の私物化です。

私は昨年来、議会で反対し続けています。1月15日、豊島副都心開発調査特別委員会では安全性、快適性、私物化の問題を取り上げました。同

時に港区の電気バスはデザインを小中学生に公募し、区民の足となつていている事例を示しました。何より区民の合意を得ず一方的に進める態度を改めるよう追及しました。豊島区は言い逃れに終始し、区長は「電気バスが意義あるものになつてくる」と何の根拠もなく強弁しました。

そして2月是一般質問し、3月に討論しました。次は5月15日に報告されます。

3億円あれば豊島区中にコミュニティバスを走らせることができます。

日本共産党 区議会議員

森 とおる

区役所控室 3981-1429

自宅 6912-0135

2018年 5月 8日発行

